

牛久市社会教育委員会議事概要		日時	令和5年7月1日(土曜日)
件名	令和5年度第1回社会教育委員会議	場所 時間	牛久市中央生涯学習センター 10:00~12:00
作成年月日	令和5年7月10日(月曜日)	作成者	生涯学習課: 木村 翠
出席者	(出席委員)	武田直樹、田井鉄男、高野しのぶ、宮田昇一、種子田孝子、高橋伸洋、竹内謙一、佐々江健治、武藤義教	
	(牛久市)	教育部長 吉田茂男、教育委員会次長兼スポーツ推進課長 高橋頼輝、文化芸術課長 木本挙周、中央図書館長 斎藤正浩	
	(事務局)	生涯学習課長 糸賀珠絵、補佐 澤城裕介、主任 横瀬幸子、主事 木村翠、会計年度任用職員 津脇文	
	(傍聴者)	なし	
(順不同・敬称略)			
議事内容	1) 社会教育関係課等の令和5年度事業概要について 2) その他		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 教育部長挨拶 3. 委嘱状および任命書交付 4. 自己紹介 5. 議長・副議長選出 6. 議事 1) 「社会教育関係課等の令和5年度事業概要」について 上記における各課所管事業の取り組み状況及び進捗状況について、資料「(1)社会教育関係課等の令和5年度事業」に基づき、スポーツ推進課・文化芸術課・中央図書館・生涯学習課からそれぞれ説明を行った。 2) その他 今後の予定について事務局より説明を行った。			
【質疑等】			
委員	一般の方が生涯学習センターの予約をしようとしても取りづらいです。現状、午前・午後・夜間の三コマ体制だが、一コマ分の時間を全て使う団体は少なく、余った時間が無駄になってしまっているように感じます。例えば一コマ二時間にすることで、もっと効率良くできる方法を考えていただけませんか。実際思うように予約が取れない団体は多いように思う。		
担当課長	過度に細分化し、料金設定など煩雑にならないよう現行の体制をとっています。無駄になってしまっている時間も確かにあると思いますが、使い方が団体それぞれに異なる中使用時間の詳細を把握していくことは難しいところもあります。最近システムの導入により、電話連絡以外の予約及び予約状況確認の方法ができたところです。使いやすさの面で何が最適か意見をもらいながらより良い方法を考察していきたい。		
委員	以前は社会教育委員に議員の方がいたと思う。今回は委嘱されていないように見受けられるが、何か変わったのでしょうか。		
次長	議会が市の事業を監視する機能を持つことから、事業に直接関与することは整合が図れないだろうとの判断があり、現在はこうした審議会の場合への議員参加は自ら辞退するなど減っています。		

委員	事業の内容自体は有意義なものだと思いますが、資料を見ても目標や目的の記載が無いです。達成や成果についても同様に不明です。予算をかけた結果どのような効果が得られたのかが知りたかったです。事業評価をどのようにすればよいのか不明瞭です。また、今回の資料配布は前日とあまりに実施日間際で目を通せていません。逆算して余裕を持った配布にしてもらいたいです。
担当課長	資料の作成・配布遅れは申し訳ございません。また、本日は事業概要の説明という趣旨の為このような資料の内容となっておりますが、毎年別途点検評価をPDCAに基づき行っています。今後はわかりやすいよう点検評価の内容等も盛り込んでいこうと思います。
委員	社会教育委員会とは何をやる組織か、定例会の目的も不明瞭だと思います。特に参加が初めての方にはここがどういう会で何を目的としていて、委員に何を求めているかが分からないと意見が述べられないです。資料の内容が不十分に思います。次回でもよいので組織図や事業とその目的・進捗・結果が一目でわかるような視覚的な資料があれば良いなと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつば塾の先生はボランティアの先生ですか？それとも謝金等をお支払いするのですか？担当は学校の先生ですか？ ・ スポーツ少年団は去年と今年比べて予算は同じですか？ ・ 市民プールがコロナで閉鎖してしまっています。近隣他市町村は市民プールが再開しているが牛久市は再開していません。感染防止策のための閉鎖ということであれば、コロナ対策を施したうえでの再開は考えておられますか？
担当課長	土曜かつば塾は登録をした上で委嘱しています。放課後かつば塾の指導員は登録のみで委嘱はしていません。指導員をされているのは、元教員の方や地域のかたです。欠員が出た場合の新規登録については、現職指導員から推薦された方々で、面接を行ったうえで登録しています。1回 2.5時間につき謝金をお支払いしています。
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少年団の補助金額は、当初予算計上時翌年度どのくらい本部事業としてかかるのか収入・支出を加味して、予算組を出しており、それに対して市の補助金必要額を算出しています。本部長には報告の上了解をとっています。実際の金額は、昨年度（当初予算）40万円、今年は30万円で、10万円減少しています。 ・ 老朽化の関係でもともとあったドームを取り外しましたが、保護されていたタイルや水槽が直射日光にさらされたことにより、さらに危険な状態となっております。したがって、コロナ対策として開けられないということだけでなく、施設として開けられる状態にないというのが現状です。この3月にスポーツ推進計画を作成しましたが、その中でプールの改修・あるいは別の形を目指すかを検討する必要性について明記しております。また、ひたち野うしく小学校の温水プール（平日18時から21時・土日祝日9時から21時）をこの4月から開放しています。プールの今後（現状維持、改修等）については、市民の方々からも意見を伺いながらすすめていきたい。
委員	プールの状況は分かりました。ひたち野うしく小学校の温水プールは小学生の利用がメインで、一般市民は自由に使えているとは言えません。高齢者からのニーズもあります。市民プールがないというのはおかしいと思いますし、意見を吸い上げつつ市民プールの開放は前向きに進めてほしいです。
委員	事業名は成人式を開催するとされているが、記載内容は二十歳のつどいを開催するとされています。18歳成人はどのように取り扱われていますか？
担当課長	現在18歳で成人されている方（市内に800数名ほど）への取り扱いは、高校に在籍されているので市長のメッセージを添えたパンフレット類（契約行為・相談窓口案内等）を成人のお祝いとして封書で郵送することとめています。「二十歳のつどい」（旧成人式）の方は、満二十歳になった方に通知してお集まりいただき式典を開くという形をとっています。
委員	成人は18歳ということだが、そうすると二十歳のつどいの根拠としては、実質的に大人になった時期ということでしょうか？18歳で成人を迎えながら2年後に改めて成人というのはいかがか？
担当課長	成人式の取り扱いは市町村によって判断が分かれるところですが、牛久市としては一つの区切りとして二十歳の方を招いて式典を行っています。昔の呼称が残ってしまっていることが考えられるので事業名も「二十歳のつどいを開催する」が適切だと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛久市に限らず全国的社会教育委員が何を行うかはあいまいな部分があります。新任の方向けに、委員の役割を示したパンフがあったように思うので、そのように情報提供があるとわかりやすいと思います。 ・ 訪問型家庭教育について、以前は不登校と外国人どちらにも対応していたが、事務の方の事情から両方はできず不登校の方は断念しています。その外国人についても、特定の人に負担が集中しています。ま

	<p>た、青少年相談員も熱心に活動しているが、現状委員の年齢が高いです。今年度も3名退任されたが、新規で3名が入ってきてくれる訳ではありません。いずれについても、そうした方々の人材育成を市でも進めていただきたいと思います。</p> <p>・図書館について、8冊増・8冊減とのことですが、企業等と提携し電子書籍を導入してはどうでしょうか。蔵書問題も減少するのではないかと思いますので、そうした検討も進めてもらえればと思います。</p>
委員	文化芸術課では、日本ワイン発祥の地としての日本遺産であるシャトー、住井すゑ邸、雲魚亭、今後は飯島家を開放する予定があると思いますが、商工観光課等とのコラボレーションは検討していますか？
担当課長	商工観光課長とは連携に向け話を進めさせていただいています。例えば、多くの方から文化芸術課が所有する各文化財関係の施設について、案内をしてほしいとの意見がありますが、これに対し、手始めに商工観光課管轄の観光アドバイザーにお願いし、案内業務を補完してもらう等、両課の連携を深めています。難しい部分もあると思いますが、こうした活動を今年度から少しずつ進めていきたいです。
委員	今年の1月にリフレビルの5階に教育関係課がひとまとめになったのですが、比較的急な変更でしたし、以前の体制のままで物事がスムーズに進んでいると思っていたので理由が分かりません。中央生涯学習センターにあるからこそ顔が見えて事務局と市民の連携が密に取れていたものが、リフレの5階になったことにより不便になってしまいました。センターで話が完結せず、リフレにもいかないと話が通じないというときに、そこまで足を延ばすのは一苦勞です。
次長	以前はリフレビル内に民間企業が入っていましたが、契約が切れるということで空きができました。それまで教育委員会事務局は、本庁の第三分庁舎・中央生涯学習センター・シャトー・運動公園とバラバラに配置されていました。現場があるという理由からそう配置されていた訳ですが、一度事務局を一つに集約することで教育委員会内での情報共有がスムーズになるのではないかと意図があり今の体制になりました。もちろん各現場に配置されていたからこそ団体や一般の方と連携が取れていた部分もあり、この半年でいろいろと不都合・不便も出てきております。実際、リフレに全て引き上げてしまうと立ち行かないということで、今現在も各施設に残している部分もあります。現在リフレにある機能についても不都合が想定されますから、今後一切現場に戻さないということではなく、皆さんと連携するにはどういった体制が良いのかというのを考えていきたいと思います。
委員	冒頭の話とも関連しますが、社会教育委員会どのように進んでいくのかわからず、今後の予定がどのようになるのか疑問です。日程が決まっていないとは言いつつも定例会がどのくらいあって、どのような準備が必要なのか、年間スケジュールを出していただきたいです。有給等として出席していますし、今後の予定が立たなくなってしまうと思います。
事務局	この先のことは、審議の内容によって変わってきてしまい、開催数なども確定させられないのですが、直近としては、県の社会教育委員会が7月18日に、社会教育委員連絡協議会の総会（近隣6市町村参加）が8月ごろの開催となると思われます。
担当課長	そうした内容について分かっている限り紙に落としてお配りしたいと考えています。今回は初回ですので本来役割や概要について配布資料があるべきで、申し訳ありませんでした。ただ、今後の定例会では一つのテーマや論題をお示しし、それに対して議論をお願いする形をとります。
委員	もし、委員会での提言を実政策に反映させるのであれば、予算編成と不可分なので、自ずときちんとしたスケジュールが必要になるはずだが、そのロードマップが全くありません。数年前にも教育長に提言したことが実際にあったので、そうした提言の流れなど新任の方向けに情報があってもよかったと思います。主席については、出られない時があるのも仕方のないことだし、できる限りの範囲でよい思います。でも熱意をもってしっかり出席してやっていきたいと考えている委員に向けて、是非とも市の方で過去の会議の実績を知らせてもらえると分かりやすいと思います。なお、委員会の議事録は取りますか？
事務局	議事録は作成し、皆様に郵送させていただきます。
委員	牛久シャトーを活用して牛久市を元気にするという活動を学校教育側で行っていたところ、文化芸術課から甲州市でもワインを活用した地域活性化の活動をする学校があるということで、双方の学校がオンライン交流をした事例が最近あったので、学校教育と社会教育の関係について改めて考える機会となりました。そうした方向から委員会に参加していきたいと思います。